

[0021]九州大学生体防御医学研究所年報 : 2006年

<https://doi.org/10.15017/15429>

出版情報 : 九州大学生体防御医学研究所年報. 21, 2007-05. Medical Institute of Bioregulation,
Kyushu University

バージョン :

権利関係 :



診療放射線室

Radiology

医師 2 名、放射線技師 3 名で、画像診断全般、IVR、放射線治療を担当している。研究では、胃癌に対する新しい画像診断法に関する研究および放射線防護剤の新たな投与法の開発に関する研究を行っている。

人事異動については以下の通りである。

2007 年 2 月に西村 弘幸が技官として着任した。

2007 年 3 月に上田 真信が新古賀病院に転出した。

2007 年 3 月に進藤 順二が定年退職した。

2007 年 4 月に宮坂 光俊が助教として着任した。

A. 胃癌に対する新しい画像診断法に関する研究

胃癌に対する画像診断方法としては従来より、内視鏡検査および造影X線検査がある。近年CT装置の進歩に伴い、転移の検索のみならず、原発巣の検出・深達度診断に対しても用いられるようになりつつあるが、依然、問題点も多い。この問題点を明らかにし、改善を図るための研究を行っている。

B. 放射線防護剤の新たな投与法の開発

放射線防護剤に関する研究は現在まで多数行われてきたが、従来の全身投与法では安全域が狭く臨床応用は困難であった。我々は実験動物を用いて、IVR 手技を応用したより安全な局所投与法の開発を行っている。

業績目録

原著論文

1. Inoue T, Kato H, Yoshikawa K, Adachi T, Etoh K, Wake N. 2004.
Retroperitoneal schwannoma bearing at the right vaginal wall.
J Obstet Gynaecol Res. 30:454-457.
2. Hatakenaka M, Yoshimitsu K, Adachi T, Matsuda T, Wake N, Honda H. 2004.
Transient uterine myometrial contraction associated with moles.
J Magn Reson Imaging. 19:182-187.
3. 野見山 弘行、古森 正宏、吉田 道夫、宮坂 光俊、真柴 晃一. 2006年
経皮的腎生検後に発生した腰動脈損傷に対して経カテーテル的動脈塞栓を施行した 1 例
臨床放射線 Vol. 51 No.9 1117-1120

学会発表

1. 宮坂 光俊 (2006, 6/3-4)

膿瘍を合併した腸間膜脂肪織炎の1例

第87回 日本消化器病学会九州支部例会 佐賀市

検査室

Diagnostic Laboratory

平成 19 年度 (2007 年度) の人事異動として、当検査室から宇藤満昭が本院病理部へ転出し、代わりに本院病理部から小松由明が当検査室に帰還した。

当検査室は、病院の効率的経営に寄与するとともに、先進的検査法を開発できるような組織に変貌することが求められている。経営効率の観点からは、非効率的検査項目の外部委託への移行や試薬等の適正納入による経費節減に努めている。また、検査医学の専門職として Nutritional support team や Infection control team の一員としての活動も今後さらに発展させたい。

業績目録

原著論文

1. Hidenori Kato, Takefumi Inoue, Kazuo Asonoma, Takao Matsuda, Yasuji Yoshikawa, Norio Wake. 2006.
Activation of STAT3/5 Signal Pathways in Complete Mole and Repression in choriocarcinoma cell lines
The Journal of Reproductive Medicine 51; 41-48
2. Koshi Mimori, N Sadanaga, Yasuji Yoshikawa, K Ishikawa, M Hashimoto, F Tanaka, A Sasaki, H Inoue, K Sugimachi, Masaki Mori. 2006.
Reduced tau expression in gastric cancer can identify candidates for successful Paclitaxel treatment
British Journal of Cancer 94;1894-1897
3. 伊藤裕子, 伊藤彰, 工藤政信, 松本悠輝, 吉河康二, 住田実, 野田隆, 三浦秀史, 高橋裕子.
2007
地方における禁煙支援ネットワークの創設とその組織化について: 禁煙健康ネット大分 (KK大分) の事例から
日本禁煙科学会誌 1(1);53-61
4. Tohru Utsunomiya, masahiro Okamoto, Shigeki Wakiyama, Masaji Hashimoto, Kengo Fukuzawa, Takahiro Ezaki, Shinichi Aishima, Yasuji Yoshikawa, Taizo Hanai, Hiroshi Inoue, Graham F Barnard, Masaki Mori. 2007
Aspecific gene-expression signature quantifies the degree of hepatic fibrosis in patients with chronic liver disease. World J Gastroenterol, 13(3): 383-390
5. 藤森尚, 茶園智人, 本村誠一, 谷口晋, 塩川佐斗志, 生山祥一郎, 西村純二, 吉河康二, 2006
両下肢壊疽を呈した悪性関節リウマチの一例
九州リウマチ 25 (5) 140-145
6. Masaharu Nakayama, Hiromi Muta, Shinichi Somada, Tyoki Maeda, Toshitaka Mutoh, Kanako Shimizu, Yoko Suehiro, Terumasa Hisano, Ryo Kurita, Takeshi Shiraishi, Masaki Mori, Yasuji Yoshikawa, Nobuto Tsunetomi, Akihiro Uchida, Kenzaburo Tani, 2007
Cronkhite-Canada syndrome Associated with schizophrenia.
International Medicine 46;175-180

7. Kenji Ishikawa, Atsushi Sasaki, Naotsugu Haraguchi, Yasuji Yoshikawa, Masaki Mori. 2007
A case of an alpha-fetoprotein-producing intrahepatic cholangiocarcinoma suggests probable cancer stem cell origin.
The Oncologist 12:320-324

著書

1. 吉河康二, 2007.
腎・尿路.
カラーで学べる病理学(渡辺照男編), pp. 225-238
ヌーヴェルヒロカワ, 東京
2. 吉河康二, 2007.
腎・尿路.
カラーで学べる病理学整理ノート:ポイントと確認問題(渡辺照男編), pp. 56-58
ヌーヴェルヒロカワ, 東京

学会発表

1. 宇藤満昭, 吉河康二, 田中文明, 三森功士, 森正樹
(症例報告)
第6回大分乳腺診断カンファレンス
平成18年9月28日(別府市)
2. 本村誠一, 大野博文, 吉河康二, 西村純二
非血縁同種骨髄移植後3年の経過を経て単純ヘルペス肝炎を合併した慢性骨髄性白血病の一例, 第68回日本血液学会総会・第48回日本臨床血液学会総会
平成18年10月6日(福岡市)
3. 西山保弘, 塩川左斗志, 吉河康二
交代浴と徒手刺激で著名な症状改善を認めた一側性上肢のCRPS type 1の症例
大分県リハビリテーション学会
11月12日, 大分市
4. 西山保弘, 塩川左斗志, 吉河康二
交代浴と徒手刺激で著名な症状改善を認めた一側性上肢のCRPS type 1の症例
第42回日本理学療法学会(新潟市)
2007年5月24~26日
5. 伊藤裕子, 伊藤彰, 工藤政信, 松本悠輝, 吉河康二, 住田実, 野田隆, 三浦秀史, 高橋裕子
地方における禁煙支援ネットワークの創設とその組織化について:禁煙健康ネット大分(KK大分)の事例から
第1回日本禁煙科学学会学術集会(平成18年12月16日, 京都市)
6. 宇藤満昭, 吉河康二, 田中文明, 三森功士, 森正樹
当院における非浸潤性乳管癌の組織像と細胞像の対比
第22回日本臨床細胞学会大分県支部学術集会
平成19年2月18日(大分市)

手術室

Department of Operation

九州大学病院別府先進医療センターの手術室管理、年間200程の外科手術症例に対して、安全で低侵襲の麻酔管理を目標に周術期管理に取り組んでいる。特に再生医療症例の周術期管理では、定型的な管理法を用いて、効率的な管理に努めている。危機管理の一環として、病院職員を対象にした心肺蘇生講習も実施している。臨床研究では従来から、侵襲度解析の方法として周術期患者に対する酸化的ストレス特に、活性酸素とフリーチオール基の抗酸化作用をチオール基還元酵素の視点で解析している。

慢性疾患診療部（リハビリテーション）

Rehabilitation of Chronic Diseases

人事については、有期技術職員理学療法士 富松 剛が平成 18 年 12 月 31 日付で退職した。平成 18 年 1 月 7 日～平成 19 年 1 月 6 日まで育児休暇を取得中であった矢守とも子が復職した。また、派遣職員 1 名が平成 19 年 3 月 31 日で採用が終了した。その後任として平成 19 年 4 月 1 日付で事務部非常勤職員 山本シズエが配置される。

職員構成は、西村純二部長、尾山純一助教，西山保弘副技師長、理学療法士工藤義弘、理学療法士矢守とも子、作業療法士中園貴志、マッサージ師岡田玉樹、非常勤職員山本シズエが温泉水治療法担当として配属される。

診療実績については、平成 18 年度は理学療法が 12321 件、作業療法が 3453 件、合計 15774 件の算定があった。昨年は理学療法が 10001 件、作業療法が 2993 件、合計 12947 件の利用があった。利用者総件数は 12947 件から 15774 件と平成 17 年度に比べ 2827 件増加した。増加の理由として、療養病床が平成 18 年 6 月に開設されたことが挙げられる。

臨床研究については、西山保弘が 3 軸加速度計を用いて虚弱高齢者の身体活動量と身体機能の関係を研究している。尾山純一助手、工藤義弘が心疾患の温泉温熱刺激が末梢血管抵抗に与える影響、サイトカインへの影響について研究を継続中である。

業績目録

原著論文

- 1 . 西山保弘，工藤義弘，矢守とも子，中園貴志，岡田玉樹，西村純二，佐藤義則，大畠照雄上牟田浩典，林篤史
微弱無線タグシステム(Tagstation)を利用した医療安全サービス向上を図る患者動態システムの開発, 国立大学法人リハビリテーション・リハビリテーション医学誌, 27: 65-68, 2006.
- 2 . 工藤義弘，尾山純一，中園貴志，矢守とも子，西山保弘
慢性心不全患者に対する温泉療法 - Effects of Bathing on Function in Patients with Cardiovascular Disease
国立大学法人リハビリテーション・リハビリテーション医学誌, 27: 33-36, 2006.
- 3 . 工藤義弘，尾山純一，西山保弘，中園貴志，富松剛，矢守とも子
慢性心不全患者に対する温泉療法
大分県理学療法学, Vol. 2: 16-19, 2006.
- 4 . 西山保弘，塩川左斗志，吉河康二
交代浴で改善を認めた一側性上肢の反射性交感神経性ジストロフィー（RSD/CRPS Type ）の 1 症例, 大分県リハビリテーション医学会誌, Vol. 4 15 - 17 , 2006
- 5 . 富松 剛，西山保弘，中園貴志，松尾啓太，内田陽一郎

交代浴および温浴の検側および対側上肢への皮膚温変化について,
大分県リハビリテーション医学会誌, Vol. 4 18 - 20, 2006

総説

1. 西山保弘

本当の膠原病の話 関節リウマチの痛みとケア ケアを「受ける側」と「する側」
の隙間について, 難病と在宅ケア, Vol. 12 : 12, p58-61, 2007

シンポジウム

1. 西山保弘

リハビリテーション診療と温熱学
日本サーモロジー学会第 23 回大会, 2006, 6

学会報告

1. 西山保弘, 中園貴志, 工藤公晴, 矢守とも子, 工藤義弘, 佐藤義則

3 軸加速度計を用いた身体活動測定 軽度歩行機能障害を伴う高齢者の身体機能
と身体活動量 第 41 回日本理学療法学会大会, (2006, 5/25 - 5/27) 群馬

2. 工藤公晴, 西山保弘, 木村五郎, 加藤和美, 村井祥二, 安邊小春, 曾根崎圭太, 長野恵理子, 衛藤美保

通院可能な軽度障害をもつ高齢者の床からの立ち上がり動作と転倒との関係につ
いて 第 41 回日本理学療法学会大会, (2006, 5/25 - 5/27) 群馬

3. 工藤義弘, 尾山純一, 矢守とも子, 中園貴志, 西山保弘

温泉が慢性心不全患者のナチュラルキラー活性機能に与える影響
第 41 回日本理学療法学会大会, (2006, 5/25 - 5/27) 群馬

4. 西山保弘, 塩川左斗志, 吉河康二

交代浴で改善を認めた一側性上肢の反射性交感神経性ジストロフィー (RSD/CRPS
Type) の 1 症例, 第 16 回大分県リハビリテーション医学会 (2006, 11/12) 大分

5. 富松 剛, 西山保弘, 中園貴志, 松尾啓太, 内田陽一郎

交代浴および温浴の検側および対側上肢への皮膚温変化について, 大分県リハ
ビテーション医学会, 第 16 回大分県リハビリテーション医学会 (2006, 11/12) 大分

6. 工藤義弘, 尾山純一, 西山保弘, 中園貴志, 矢守とも子

慢性心不全の温泉リハビリにおける心機能と血管反応
第 71 回日本循環器学会, (2007, 3/15-3/17) 神戸